



岩手を守り、日本を変える。

「きどぐち再選へ、支援広がる」

参議院選挙の公示まであと2か月に迫り、再選を目指す木戸口参議院議員の支援の輪が広がっています。今月16日には、きどぐち後援会に加え、たっそ拓也後援会、横沢たかのり後援会の合同拡大役員会が開かれ、全会一致で木戸口氏の推薦を決定。会合で達増知事は「木戸口英司さんと私、達増拓也はコインの表裏であり、一体の関係だ。再選に向けて私も自分のこととして最大限努力する」と全面支援を表明しました。



また、労働界の支援もさらに踏み込んだ形になってきました。すでに推薦を決定している連合岩手と木戸口参議院議員は、18日に政策協定を結びました。連合岩手の佐々木秀市会長は「組織を挙げて木戸口氏の再選に力を尽くす」と表明しており、傘下の組合に木戸口支援を徹底することとしています。また同日には、平和環境岩手県センターとも政策協定を結びました。

「国民民主党岩手県連に推薦要請」

立憲民主党県連の横沢高德代表は9日、盛岡市内で国民民主党岩手県連の軽石義則代表と会い、夏の参議院選挙で木戸口英司参議院議員の再選に向けて推薦を要請しました。席上、横沢代表は「野党共闘の源流であり、自民党に対峙してきた岩手では、参院選は絶対に勝利しなくてはならない戦いだ。これまでもともに戦ってきており、ぜひとも力を貸してほしい」と述べました。これに対し軽石代表は「方向性は同じだ」と述べ、前向きに検討する考えを示しました。



（この欄は、本誌の編集方針に基づき、関係者のコメントを掲載しております。掲載内容は、関係者の発言を正確に伝えることを目的とし、事実を正確に伝えることを最優先とします。また、関係者の発言を正確に伝えることを最優先とします。また、関係者の発言を正確に伝えることを最優先とします。）